

幸福の谷

バルツァム



Center for Southeast Asian Studies
Kyoto University



ニュースレター



2022年8月

ハイブリッド キックオフ ミーティング



JICA パートナーシップ プログラム「ブータン国東部タシガン県における大学－社会連携による地域づくりに関する人材育成開発支援」のハイブリッド・キックオフ ミーティングが、シェラブツェ大学GNH－コミュニティ・エンゲージメント・センター会議室で成功裏に開催されたことをお知らせいたします（2022年8月）。イベントは ツェリン・ワンディ校長の開会の挨拶で始まり、続いて、プロジェクト・マネージャー坂本龍太氏が基調講演を行い、プロジェクト・コーディネーター赤松芳郎氏がプロジェクトの概要について話しました。

一言で言えば、このプロジェクトは、シェラブツェ・カレッジ、ブータン王立大学、および **GNH** ーコミュニティ・エンゲージメント・センター (**GNH-CEC**) の自発性（主導権）を支援することを目的としています。地域コミュニティと連携した研究・実践活動を通じて、農村開発の課題に取り組む人材の育成を促進するための「地域連携システム(授業と実践活動)の制度化」を目指しています。

途中でいくつかの質疑応答セッションが行われましたが、最終的に、安藤和雄氏(プロジェクト・サブマネージャー)の興味深いメモの発表で会議が終わり、フォトセッションで締めくくられました。

バルツァムー幸福の谷

石内 良季

「モニユルの幸福の心の谷（バルツァム）で」

- Khenpo Phuntshok Tashi (2015: 166)

ブータンの首都ティンプーから東西高速道路に沿って東に移動すると、ミトリ ダン川によって切り開かれた急な峡谷の斜面に広がるタシガンの町が見えます。旅の終着点です。谷を支配するかのように町の南にそびえ立つタシガン ゾンは、断崖の下で轟音をたてながらゆっくりと流れるダンメ川を見下ろし、四方八方に吉祥（タシ）をまき散らします。カーキ色のトレッキングパンツに白い長袖の開襟シャツ、かぎ針編みの帽子をかぶり、額が汗ばむほど熱く、マヒンドラのボレロ（SUV）に乗って凹凸のある舗装道路を1時間ほど揺れます。谷から緑の山々を抜けて、山火事後に生い茂ったと思われるレモンガラスの大きな群生と、道路に巨大な松ぼっくりが現れ始めた頃には、消えゆく霧とそこから差し込む太陽の光が、私の不安を表現するかのように私の体を駆け巡りました。何が待ち受けているかを予想して、私はすでにバルツァムにいました。

バルツァムは、タシガン県に属する郡の1つです。この地域には、インドとチベットの間の貿易ルートの中間点（バルカ）として栄えた3つの入植地（ツォスム）があり、そのためこの場所（バーツォ スム）の名前が付けられました。東に面したバルツァムの谷からは、早朝の日の出と、その前にあるビドウン、ラディ、チャリン、チャンメイ、ガリンの集落を眺めることができます。夜になると、点在する集落の明かりが遠くに輝き、それぞれが星座を形成します。



写真：タシガン県バルツァムでの日没

ガムリ川とバルツァム全体に沿った山の斜面にある星空を見下ろす小高い丘の上に建てられたチャドル・ラカンは、バルツァムの象徴的な寺院です。チャドルという名前は、この寺院に奉納された宝物であるヴァジラパニの像であるメメ・チャドルに由来しています。メメ・チャドルは、過去にダンサム地方（現在のペマ・ガツシェル）の王であった父親から、バルツァムのヤンカルによって育てられた3人の息子のうちの真ん中の息子に受け継がれました。メメ・チャドルが来ることを知ったヤンカルの人々は、真夏に田植え作業を中止し、メメ・チャドルの到来を盛大に祝ったと言われています。メメ・チャドルの到着は、バルツァムの人々だけでなく、地元の神であるモンリン・ジェボをも喜ばせたと言われています。その後、メメ・チャドルはヤンカルからチャドル・ラカンの現在の場所に移され、後に現在の寺院の建設につながりました。



写真： タシガン県バルツァムのチャドル・ラカン

メメ・チャドルはブータンの心の中心のような場所です。心臓が無くなればその人は死んでしまいますが、他の臓器は無くなってもたいしたことはありません。バルツァムだけでなく、ブータンにとってもとても大切な宝物であるため、今日、ブータン中、そして世界中の人々がメメ・チャドルの祝福を受けに来ます。バルツァムの人々は、バルツァムは起伏のある丘の上に位置していますが、メメ・チャドルのおかげで作物がよく育つと言います。夏が終わりに近づき、天気が肌寒くなると、バルツァムのいたるところでトウモロコシと水田が見られ、青々とした緑の葉が急速に成長し、畑からあふれ出します。もうすぐ収穫の季節がやってきて、バルツァムは人々の喜びの声で満たされるでしょう。幸せなひとときをここで過ごすことができ、私はとても幸せです。

参考文献

Khenpo Phuntshok Tashi. 2015. Three Rising Stars: Amazing Life Stories of the Enlightened Masters of Bhutan. Thimphu: Druk Odiyana Foundation.



写真：タシガン県バルツァムのチャドル・ラカン(Choekhor Time)



タシガン県のトウモロコシ生産とバルツァムでの多様な使用

生駒 忠大

ブータンでトウモロコシ生産が顕著なのはタシガン県です。

東部ブータンでは西部ブータンより多くのトウモロコシと雑穀が栽培されていることが知られています。農業統計 2021 によると、2021 年のタシガン県のトウモロコシ生産量は 3,493.1 (MT) で、モンガル県とペマガシエル県に次いで 3 番目にランクされています。この値は、全国生産量の 11% を占めています。2021年の2.1 (MT/エーカー) の生産性を見ると、ペマガツェル県、タシヤンツェ県に次ぐ3位となっています。図1は、農業統計が取り始められた2004年以降の最近のタシガン県のトウモロコシ生産動向と、全国に占める割合を示しています。図2は、タシガン県のトウモロコシ生産性が全国平均を上回る傾向にあることを明らかにしています。これらの2つの図から、タシガン県は優れたトウモロコシ供給地域の1つとして発展していると言えます。

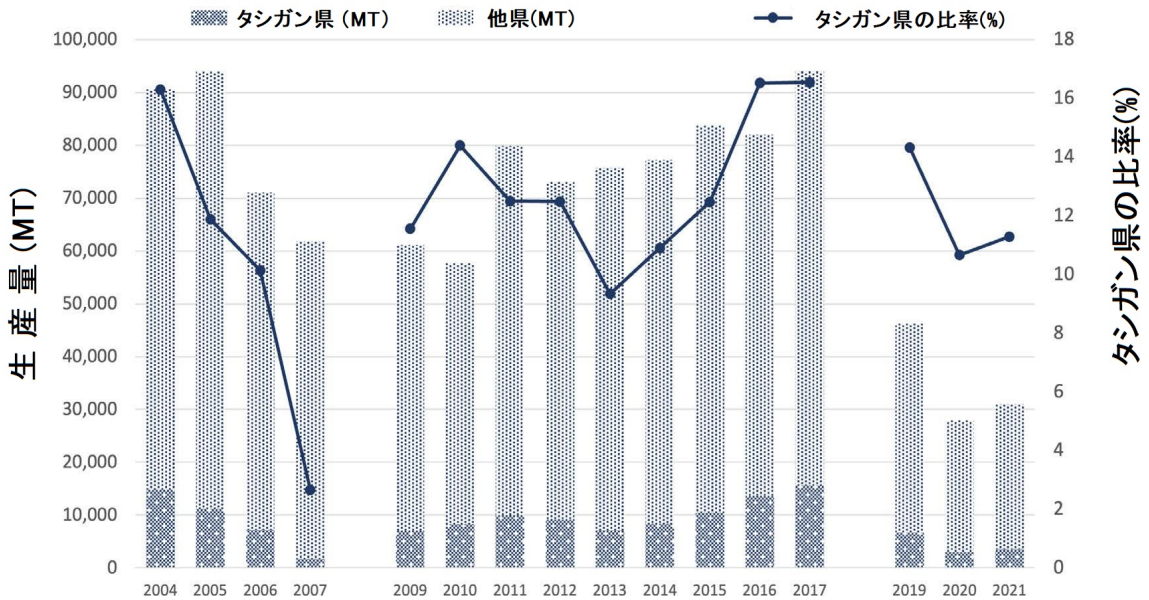


図1 タシガン県におけるトウモロコシの生産量と全国で占める割合
(農業統計2004-2021による)

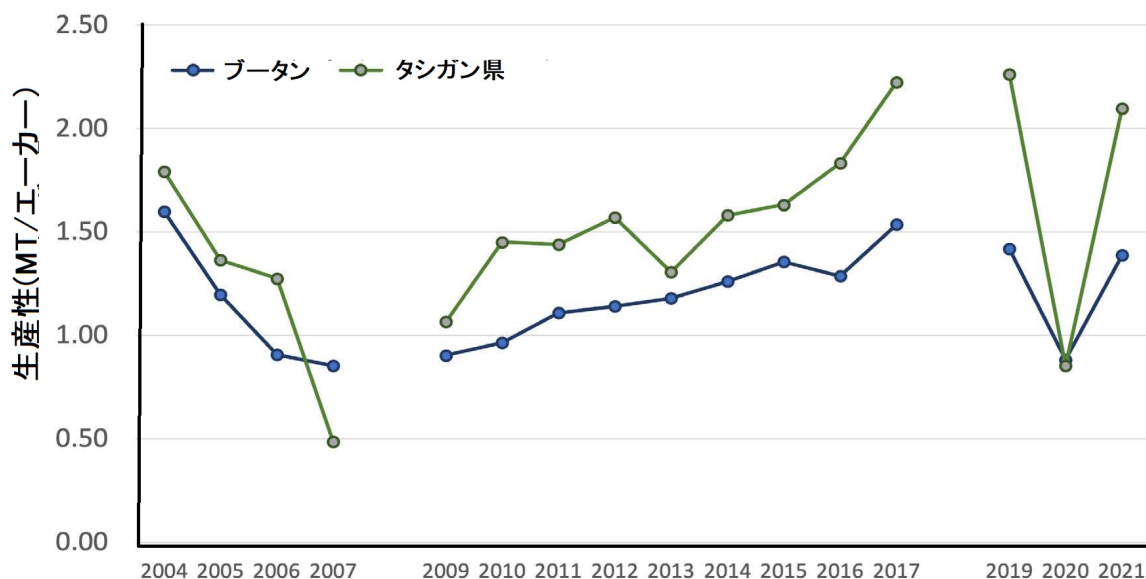


図2 タシガン県における2004年以降のトウモロコシ生産性の変化
(農業統計2004-2021による)



バルツァムで栽培されているトウモロコシの品種を詳しく見てみましょう。5月にバルツァムに到着した時、トウモロコシはまだ小さく、草むしりや土寄せ (Ashum bak pe) の作業がたくさん行われていました (写真1参照)。それから時間が経ち、バルツァムでは9月からトウモロコシの収穫が行われました (写真2参照)。

私たちが滞在している村の主な品種は、カリンパ (Khaling pa) と呼ばれる地元のものです。しかし、近年、いくつかの農家は、政府によって導入されたツンカアシュム (Zhungka ashum) またはハイブリッド・トウモロコシと呼ばれるハイブリッド品種の栽培も開始しています。バルツァムでは、ヤンツパ (Yangtse pa) と呼ばれる別の品種が確認されていますが、ここでのトウモロコシ生産の全体像を把握するには、より詳細な調査が必要です。



写真1. 除草と土寄せ作業（5月）



写真2 カリンパ(Khaling pa)の収穫（9月）

村人によると、カリンパ(Khaling pa)は3メートルほどに成長し、1～3つのクラスター（3つはまれです）を生成します。一方、導入されたハイブリッド品種は、1つの植物から3つまたはそれ以上のトウモロコシを生産できるため、農家はより良い生産を期待できます。ハイブリッド品種は、在来品種に比べて背が低く、倒れにくいと考えられてきました。しかし、過剰な施肥や強風により、トウモロコシが倒れてしまうことが明らかになりました（写真3、写真4）。今年初めてハイブリッド品種を導入した農家の中には、強風でトウモロコシが倒れるという経験をした農家もあり、そのことについてはいくつかの嘆きを聞いています。さらに、ハイブリッド品種の拡大が困難である背景には、多くの理由があるようです。ある農家の女性は、「実が早く熟し、枯れるのも早いので、カリンパの方が好きです」と話していました。農家は、ハイブリッド・トウモロコシと比較して、カリンパの方が早い収穫を期待できます。また、成長段階にある間引きされたトウモロコシは牛の飼料として利用されますが、ハイブリッド品種の場合、葉が筋状で硬いため牛は好んで食べないため、少し工夫が必要です。

とうもろこしの物理的特性も食品加工工程に影響を与えます。トウモロコシは製品に加工され、アラ（地元のアルコール）、テンマ（トウモロコシを焼いて叩いたもの）、カラン（トウモロコシのグリット）など、さまざまな形で消費されます。たとえばテンマを生産するには、乾燥させすぎたはいけません。したがって、成熟期は早い方が有利です。収穫後、乾燥などの加工を考えた場合、「枯れやすく腐りやすい」ことが重要と思われる。つまり、トウモロコシが何に加工されるのかによって、同じ品種であっても収穫時期が違ってくるのです。



写真3 政府導入のハイブリッド・トウモロコシ



写真4 倒伏した政府導入ハイブリッド・トウモロコシ

これまでのフィールドワークから、統計上ひとつくりにされがちなトウモロコシには、多くの品種があることが明らかになりました。農家はその中から生産性だけではなく、栽培環境や利用の方法も考慮した上で、自分たちに適したものを選択し、栽培しているのです。

参考文献

Ministry of Agriculture. 2004-2007. and Ministry of Agriculture and Forests. 2009-2021.

Kinley Wangmo. 2019. Effect of Harvesting Stages of Maize on Quality and Consumption Preferences of Engma. Bhuanese Journal of Agriculture 2(1): 131-142.





ニュースレター

No. 2

本ニュースレターのいかなる部分も出版者の許可なく、いかなる形式または手段によっても複製することはできません。
デザイン： アビ・チャンドラ・アチャリヤ (AB PANDA) プロジェクト・オフィサー